

課題研究成果発表会

1月25日・2月1日

—* ステージ発表 *—

1



酸素濃度の変化とミルワームの巨大化の研究
～古代生物巨大化の関連性～

2



微生物燃料電池の高性能化



立体O×ゲームの公平性



磁気による免震の基礎研究



ビタミンCで知る紫外線グッズの性能

—* ポスター発表 *—



ミドリムシの効率的な培養方法



線香花火に色はつくのか



香いと記憶の関係



洗濯物の効率的な乾かし方



CDとDVDはなぜ容量が違うの



くつの構造



種子植物と海水の関係



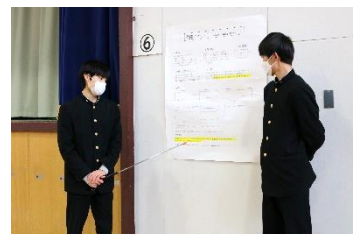
ヒット&フローの必勝法



空気砲について



ルービックキューブについての考察
～コーナーキューブの単体回転による規則性～



摩擦について



帆船の風と帆の角度について

課題研究を行うためには、題材となるものについて詳しく調べて知識を深めることが大切だと思います。また、班員と何が良かったのか、何を改善するのかなどのアイデアを出し合うので、人と協力することも大切だと思います。研究を行うだけでなく、資料としてまとめ、人に伝えるというところまでが課題研究の活動だったため、分かりやすく見やすい資料を作るスキルも基本的なことは身につけることができました。今後大学などで研究を行う際には、応用していきたいと思いました。
2年 古海 真尋(篠崎中学校)

課題研究では主に自分の考えや結果をどうやって相手に伝えたらよいかを学びました。スライドやポスターなどには、話す内容の要点や言葉では伝わりにくいものをのせて、話に集中できるように、なるべく少ない視覚情報を与えることが大切であること、質問を予想し、それに対する答えを用意することなどが重要だと学びました。今回学んだことを今後に活かしていきたいです。
2年 高島 柚乃杏(永犬丸中学校)

最初は課題研究の仕方がよく分からず、先生に頼っていたが、だんだんと自分たちだけで考えることができるようになり、どの方法で、どんな結果をどれほどよいか分かるようになった。自分の意見も言う機会が増えていき、より主体的に研究に取り組むことができた。将来このような研究をすることがあると思うので、今回培った資料を正しく読み取り、他の資料と組み合わせることで適切な方法を考え意見を言う能力を伸ばしていきたい。
2年 安藤 颯真(木屋瀬中学校)

自分が持っている知識を実際に应用するために、主体的に考えることができた。また、自分たちが行った実験を人に分かりやすく伝えるために、スライドや原稿を工夫して作成できた。仮説や考察を積極的に考え、実験の方法などを試行錯誤する楽しさを学んだ。ステージ発表はとても緊張したが、たくさんの人に自分たちの意見を発表できて、貴重な経験になった。質問に対して正確に答えることができなかったことに関しては、自分の知識不足と瞬時に判断する能力が欠けていたので、もっと研究テーマについて勉強していきたいと思う。
2年 下岡 禾苗(黒崎中学校)

0の状態から疑問を見つけ、疑問を課題として研究することの難しさを思い知った。高校にある実験道具や気軽に手に入れることができるものしか使えないので無理なことも多くあった。その中でなるべく理想の条件に近づく実験方法を模索し、検証を重ね、なんとか形になった時は達成感があった。スライドやポスター作成の技術は大学生や社会人になっても活かせるので、これからの自信になった。
2年 川島 昊輝(花尾中学校)

1年間の課題研究を通して、自分が抱えている疑問について積極的に探究し、深く考察していくことができました。私はこの活動の中で、物事のある一面で捉えるのではなく、様々な角度から考えて問題を解決する力が身についたと思います。今回学んだことを活かして、今後も自分の疑問に対して前向きに向き合って解決しようとしていく姿勢を持ち続けていきたいです。
2年 佐藤 千波(博多女子中学校)

課題研究では、どれだけ想像つかない内容でも、話し合うことが大切だと思った。また、私たちの班は2人で、第三者の先生にもアドバイスをもらって解決につながることもあった。自分たちでは、考えが偏ってしまったり、気づかないことがあったりしたので、他の人の意見を早い段階から積極的に聞きに行こうと思った。これから勉強で行き詰ったときも、まずは自分で考えた後、他の人に自分が考えたことをまず伝え、アドバイスをもらうようにしたいと思った。
2年 上谷 紗也珈(黒崎中学校)